

医薬事業戦略

2020年11月19日

常務取締役 医薬事業部長

西田 健一



本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

- ①注射剤工場の増産体制強化
- ②経口剤工場の増産体制強化

本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

- ①注射剤工場の増産体制強化
- ②経口剤工場の増産体制強化

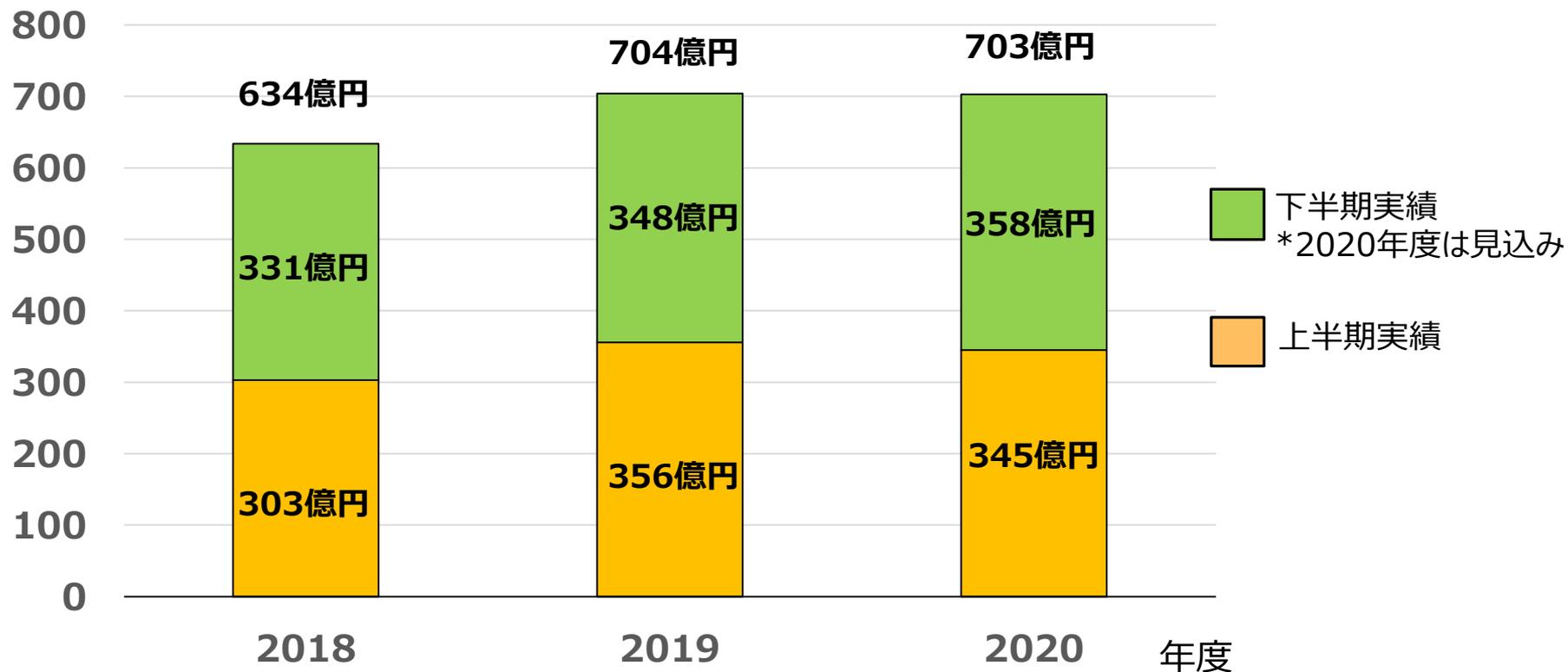
医薬事業各部門 売上高

売上高

単位：百万円

	4-9月 売上高			通期 売上高見込み		
	実績	対前年	対期初予想	実績見込み	対前年	対期初予想
ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマG	28,407	96.5%	91.6%	58,322	99.5%	96.6%
全星薬品工業	6,126	98.3%	102.1%	11,978	101.9%	101.0%
合計	34,533	96.9%	93.3%	70,300	99.9%	97.3%

医薬事業セグメント 売上高推移



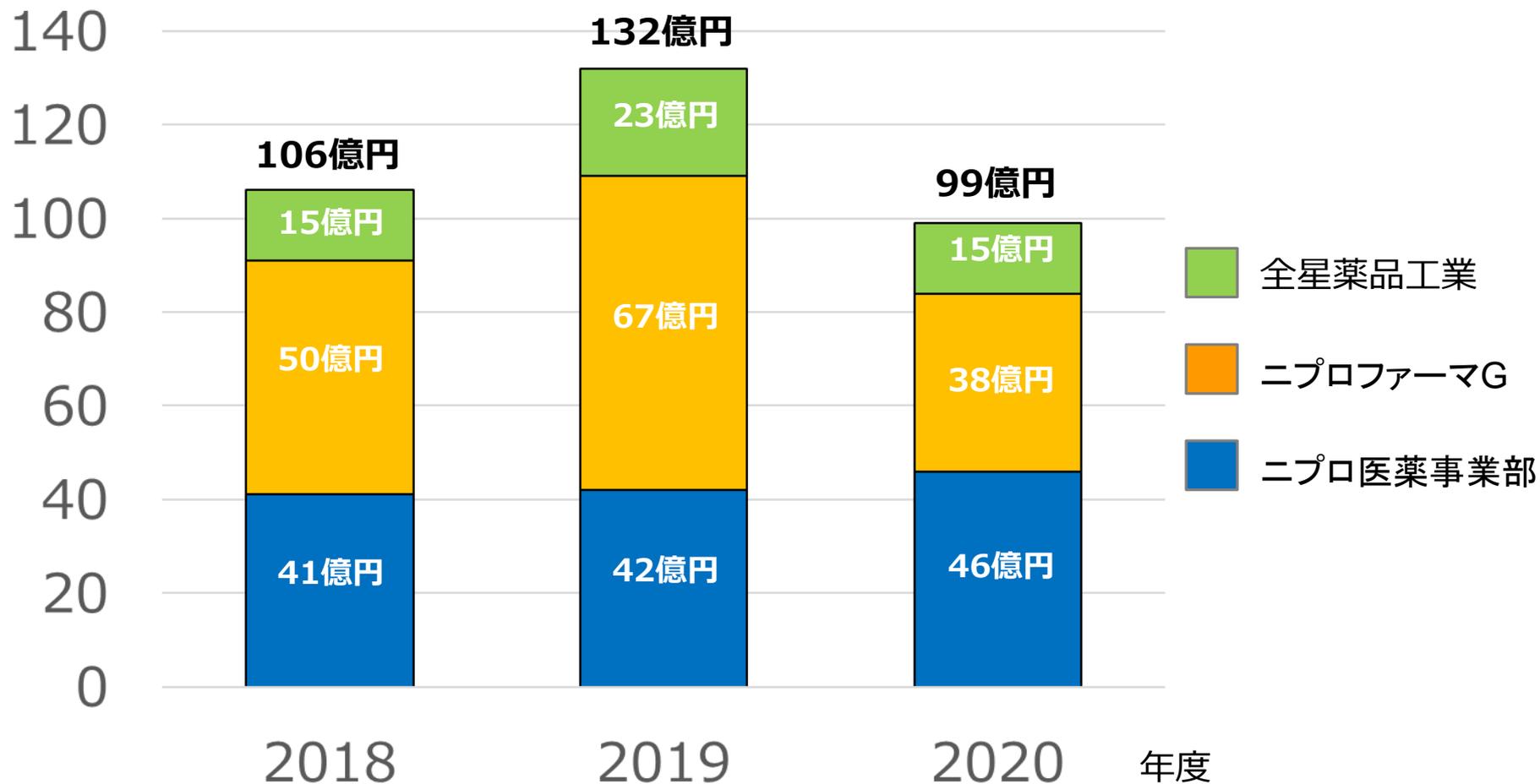
医薬事業各部門 営業利益

営業利益

単位：百万円

	4-9月 営業利益			通期 営業利益見込み		
	実績	対前年	対期初予想	実績見込み	対前年	対期初予想
ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマG	4,376	89.1%	85.0%	8,447	77.4%	89.2%
全星薬品工業	867	73.9%	102.4%	1,453	63.7%	94.9%
合計	5,243	86.1%	87.4%	9,900	75.0%	90.0%

医薬事業各部門 営業利益推移



本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

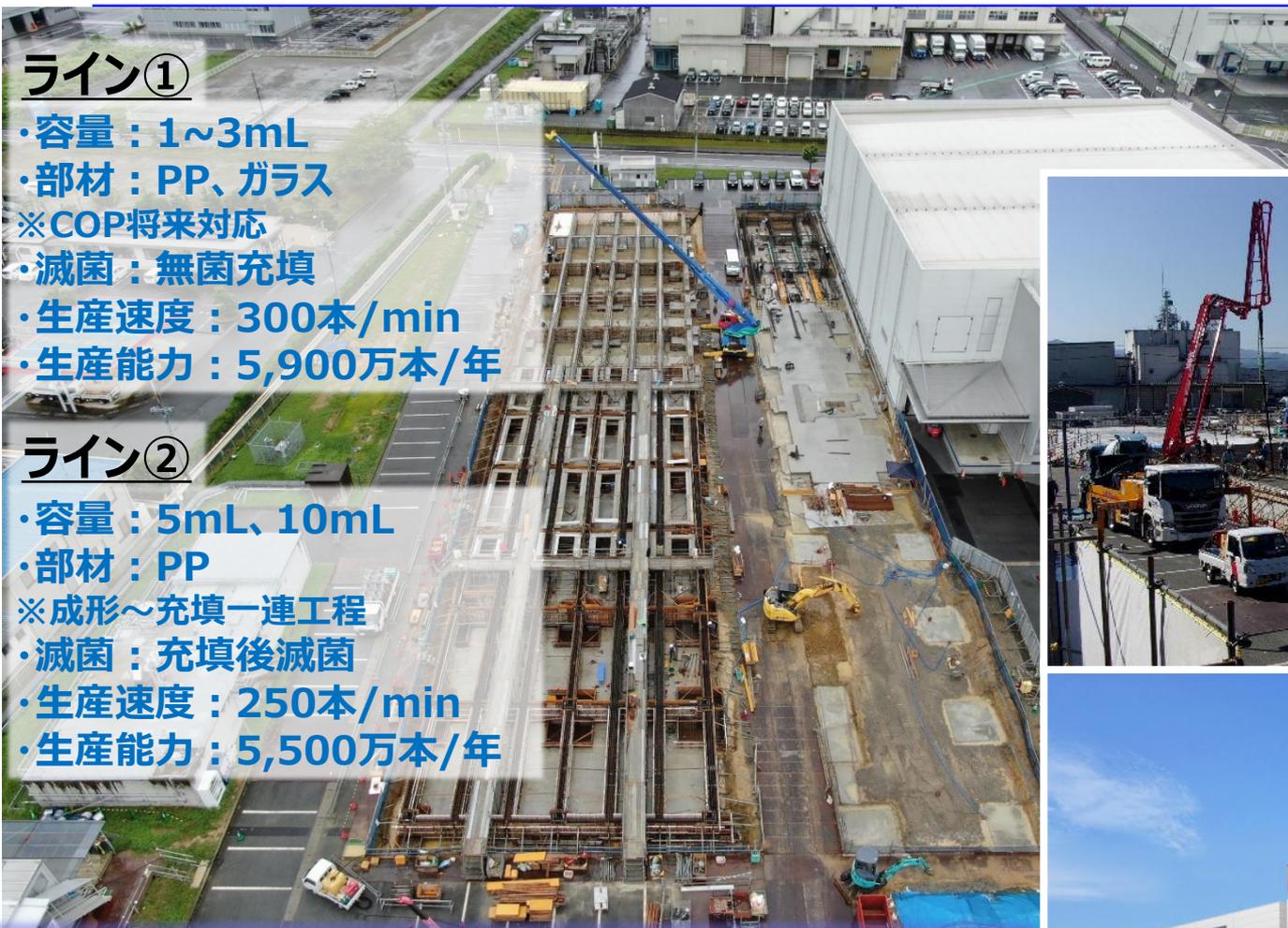
- ①注射剤工場の増産体制強化
- ②経口剤工場の増産体制強化

注射剤工場の増産体制強化

ニプロファーマ 伊勢工場



プレフィルドシリンジライン 新設

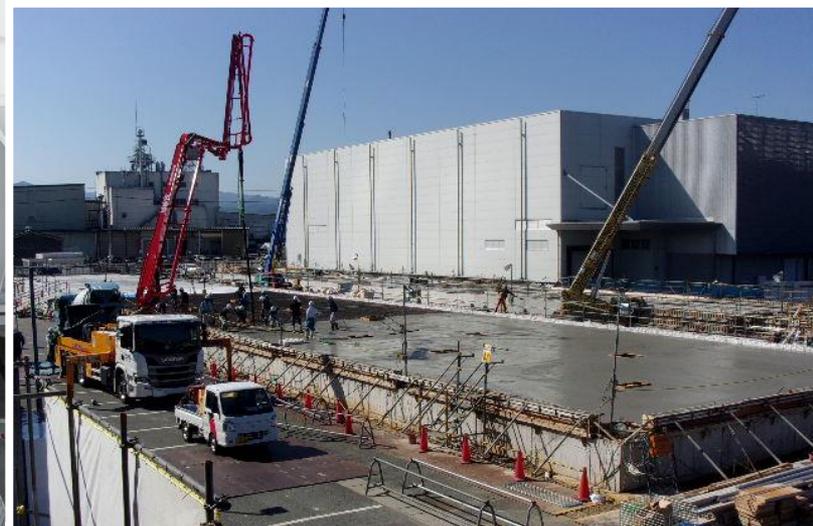


ライン①

- ・容量：1~3mL
- ・部材：PP、ガラス
- ※COP将来対応
- ・滅菌：無菌充填
- ・生産速度：300本/min
- ・生産能力：5,900万本/年

ライン②

- ・容量：5mL、10mL
- ・部材：PP
- ※成形～充填一連工程
- ・滅菌：充填後滅菌
- ・生産速度：250本/min
- ・生産能力：5,500万本/年



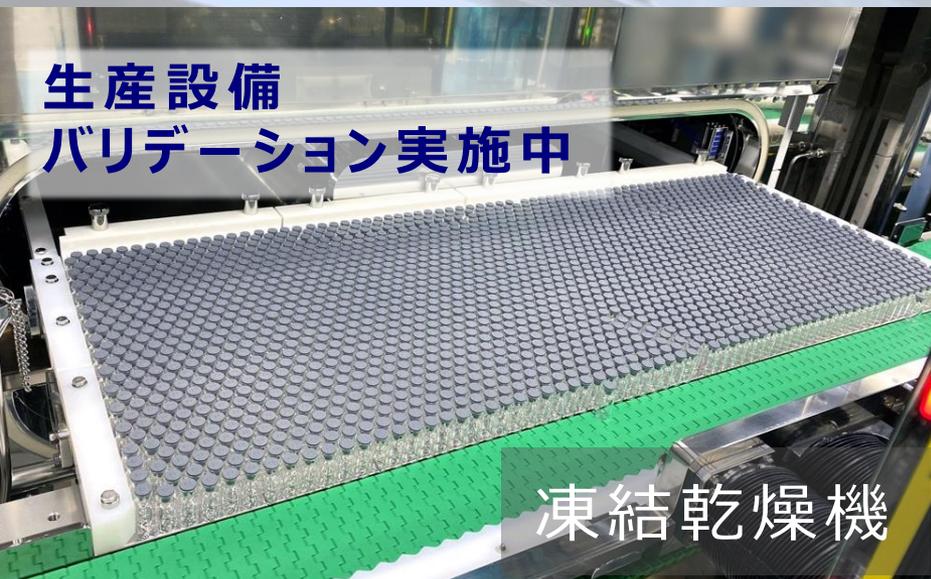
2020年2月
●
建築着工

2021年6月
(▲3ヶ月)
●
設備搬入

2023年2月
●
生産開始

新バイアルライン

生産設備
バリデーション実施中



凍結乾燥機



外洗機

2020年3月 4月

PV生産開始 凍結乾燥機
導入工事開始

2021年4月

凍結乾燥機
稼働予定



生産能力

液のみ：2,900万本/年 液：400本/min(最大) φ16・φ22・φ24・φ30

凍乾のみ：230万本/年 凍乾：250本/min(最大) φ16・φ18・φ22・φ24・φ30

※凍乾：4日/ロットとして φ16サイズ稼働率80%とした場合

ニプロファーマ 大館工場



シリンジライン増設

プレフィルシリンジ20mLのライン増設を行い、安定供給体制強化を図る。

2020年10月
搬入据付開始

～2021年1月
検証評価

2021年4月～
稼働開始

経口剤工場の増産体制強化

ニプロファーマ 埼玉工場



埼玉工場 生産体制の補強

新規設備導入により、生産能力を7億錠から14億錠に増強。
新たな経口剤の基幹工場として今後の製造需要増に備える。



2020年 導入済み生産設備

- 攪拌造粒機 2台
- 乾式造粒機 1台
- 流動層造粒機 2台
- 混合器 1台
- 打錠機 2台
- 錠剤検査機 2台
- レーザー印刷機 1台
- PTP包装ライン 1式

全星薬品工業 岸和田工場



岸和田工場 新棟建設計画

製造（小スケール（治験薬含む））・試験・倉庫エリアを備えた新棟建設中

- ・生産キャパの拡充：25億錠→30億錠を実現
- ・治験薬製造エリア新設による新規ビジネス体制の構築
- ・分析・試験室の設置による試験数増加への対応

2022年10月稼働予定



ご清聴ありがとうございました